

令和 7 年10月 守口市教育委員会定例会

○日 時 令和 7 年 1 0 月 1 0 日（金）

午後 3 時 3 0 分～午後 4 時 2 1 分

○場 所 守口市役所 6 階 教育委員会会議室

○出席者

教 育 長 田 中 実

教育委員

教育長職務代理者 杉 岡 佐 緒 理

委 員 中 野 澄

事務局等

教育部長 高橋 幸司 学校教育指導監 原田 英和

教育部次長 瀬尾 邦雄 市民生活部次長兼生涯学習・スポーツ振興課長 中村 英樹

教育総務課長 水野 敦夫 学校教育課長 中西 崇介

保健給食課長 鈴木 将巳 教育センター長 間宮 大輔

人事課長 湯川 正和 学校教育課参事 森尾 輝義

教育総務課長代理 巽 陽子 学校教育課長代理 山口 喜孝

学校教育課主幹 平山 いづみ 教育総務課主任 林 充世

学校教育課主任 山中 圭輔

○付議事件

議案第 3 5 号 令和 7 年度教育費補正予算案についての意見

議案第 3 6 号 令和 8 年度小学生すくすくウォッチへの参加について

協議事項 1 守口市教育委員会学校提案型人材育成事業について

報告事項 1 瀬野憲一市長及び田中実教育長によるパワーハラスメント疑惑の調査
に関する決議について

報告事項 2 スポーツ関係団体補助金及び市スポーツ協会に係る問題に関する調査
 特別委員会設置に係る報告について

開会 午後 3 時 3 0 分

○田中教育長 ただいまから教育委員会の定例会を開会いたします。

日程第 1、「会期について」、お諮りします。

本日の定例会の会議時間は、午後 3 時半から 5 時半までの 2 時間といたしたいと思います。御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○田中教育長 異議なしと認め、会議時間は午後 5 時半までの 2 時間といたします。

次に、日程第 2、「会議録署名委員の指名について」です。

本日の署名委員は中野委員を御指名申し上げます。よろしくお願いいたします。

次に、日程第 3、「前回会議録の承認について」お諮りいたします。既に委員の皆様には 7 月 2 8 日に開催されました、教育委員会 7 月定例会会議録（案）、及び 8 月 2 2 日に開催されました教育委員会 8 月定例会会議録（案）を配布いたしております。原案のとおり、承認及びホームページに掲載することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○田中教育長 異議なしと認め、教育委員会 7 月定例会会議録（案）及び 8 月定例会会議録（案）については承認することといたします。

次に、日程第 4、議案第 3 5 号「令和 7 年度教育費補正予算案についての意見」を議題といたします。議案の説明をお願いします。

○水野教育総務課長 それでは、議案書 2 ページから 3 ページを御覧いただきますようお願いいたします。

まず、2 ページの「3 意見案」についてですが、守口小学校建設工事の施工業者である中川企画建設株式会社から、令和 7 年 1 0 月に、建設工事請負契約第 2 5 条第 1 項に基づく当該工事についての請負代金額変更（物価スライド）の請求がありました。

本市教育委員会においては、請求された請負代金額が適正かを確認するため、守口

小学校建設工事の設計書に記載のある単価及び金額を見直すため、当該工事を設計・工事監理する株式会社昭和設計に追加の委託料を支払う必要があります。

また、賃金水準や物価水準の変動に伴う経費及び施工管理費の増加に対応するため、当該事業に係る歳出予算の支出及び成果物の納期が4月末頃となる見込みであることから、債務負担行為の補正措置が必要なため提出するものです。としております。

次に、金額につきまして、3ページの「令和7年度教育費補正予算案」の表に沿って御説明いたします。

「項目1 施設整備・建設事業小学校（臨時）」の歳出費目は、守口小学校建設工事物価スライド対応事業業務委託の委託料のうち、令和7年度にかかるもので、項目2が令和8年度にかかるものです。

先ほど御説明させていただきましたとおり、成果物が4月末になる見込みであることから、令和7年度の歳出補正額は0円、令和8年度債務負担行為として歳出補正額は1,989万9,000円となります。

なお、当該補正予算について、本日御議決をいただいた後には、直近の令和7年度守口市議会定例会に議案として提出する予定としております。

以上、よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

○田中教育長 説明が終わりました。ただいまの件につきまして、何か御意見・御質問はございませんでしょうか。

物価スライドの確認のための委託料ということでございますが、よろしいでしょうか。

では、御意見・御質問がないようでございますので採決いたしたいと思います。

議案第35号につきましては原案どおり決定することに、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○田中教育長 異議なしと認め、議案第35号につきましては、原案のとおり決定いたしました。

次に、日程第５、議案第３６号「令和８年度小学生すくすくウォッチへの参加について」を議題といたします。

議案の説明をお願いします。

○中西学校教育課長 それでは、議案書（５）ページを御覧ください。

令和７年９月１９日、大阪府教育委員会教育長より、令和８年度小学生すくすくウォッチへの参加について依頼がございました。

資料上段に教育委員会の考え方を、点線四角囲みは令和８年度の調査概要をまとめたものです。

当課としましては、これまでも同種の調査と併せて参加することで、５年生からの経年比較が可能となり、授業等の指導改善、施策の見直しや改善等を行ってきたところ です。

令和８年度においても、本調査に参加することで、各学校において、調査問題を授業等で活用し、児童が自分の学びを振り返る機会を設定することや、アンケートのオンライン化を生かし、調査実施後速やかに学習状況の把握・分析を行い、個に応じた指導を充実させ、今後求められる資質・能力の育成を着実に図ってまいりたいと考えています。

続いて、内容について御説明いたします。

「１ 目的」は、子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることとなっております。

次に、「２ 実施内容・実施日」です。

対象は、小学校及び義務教育学校前期課程の５年生、６年生の全児童です。

実施内容は、５年生は、国語、算数、理科、教科横断型問題、アンケートです。６年生につきましては、全国学力・学習状況調査での実施教科である国語、算数を除いた、理科、教科横断型問題、アンケートとなります。教員対象のアンケートも実施さ

れます。

実施日は、本市では今年度同様、全国学力・学習状況調査基準日と同日の令和8年4月23日木曜日と考えております。なお、実施場所は各学校となります。

「3 各教科・わくわく問題及びアンケートについて」。記載のとおりとなっています。

児童アンケートは、目標に向かって頑張る力、気持ちをコントロールする力、人と関わる力、次の学びや生活に生かす力、好奇心等に関する内容や、学習状況、学級や授業等に関する意識等のアンケートとなっております。

教員アンケートは小学校及び義務教育学校前期課程の5年生、6年生の学級担任及び当該学年に関わる教員等を対象とし、授業や指導、学校や学級の様子等に関するものとなっております。

なお、実施時間は、国語、算数、理科はそれぞれ20分、教科横断型問題は40分、児童アンケートは20分程度となっています。

次に、議案書（8）ページを御覧ください。

「4 問題・アンケートの作成及び実施並びにその後の取組の実施体制」についてです。問題・アンケートの作成に当たっては、府内市町村教育委員会との協議を踏まえ、読解力や情報活用能力などの育成に関する有識者、教育心理学・認知心理学などに関する有識者、大阪府教育センター、大阪府教育庁の代表者により構成された問題及びアンケート作成のワーキングチームにより協議の上、作成することとなっております。

「5 問題及びアンケート結果の取扱い」についてです。

（1）結果分析については、各教科の状況、設問ごとの状況が示されます。アンケートの結果分析は、児童、教員アンケートの相関関係や各教科の結果等との相関関係の分析が示されることとなっております。

（2）提供資料は、児童、学校、市町村教育委員会ごとに個人票や結果データ等となっております。

（３）結果の公表については、府教育委員会は府全体の状況及び市町村の状況について公表すること、市町村教育委員会は、すすくウォッチの趣旨に基づき、域内の状況にかかる結果や取組の説明に努めること、学校は、保護者等に自校の結果について、すすくウォッチの趣旨・目的を達成するために、公表することは可能となっております。

なお、（４）結果の取扱いに関する配慮事項において、結果の公表に関しては、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である一方、児童等への影響を十分配慮し、各学校の教育活動に支障を及ぼすことのないようにすることとなっており、具体的な公表の手段等が４点示されております。

続いて、議案書（１０）ページ、「６各教科及びアンケート結果の活用」についてです。各教科及びアンケートの結果から、すすくウォッチの趣旨・目的に基づいた取組を進めるに当たり、教員、学校、市町村教育委員会がそれぞれの立場で取組の推進に努めることとなっております。

最後に「７留意事項」についてです。各教科及びアンケートは、大阪府教育委員会が市町村教育委員会の協力を得て実施するということが明記されています。また、障がいのある児童や日本語指導が必要な児童等への配慮及び対応については、学校が、児童、保護者と協議の上、各教科及びアンケートの実施を柔軟に対応することとなっております。

説明は以上です。

これまでの学力向上へ向けた取組をさらに進めるため、令和８年度すすくウォッチへ参加することにつきまして、よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願いいたします。

○田中教育長　説明が終わりました。ただいまの内容につきまして御意見・御質問がございましたらお願いいたします。

○中野委員　今、中西課長のほうから御説明いただきました、その目的や方法につ

いて、私としてはすごく大事なことやというふうに思ってます。

また、市の教育委員会としても、いつもきちんと分析して、その結果を分かりやすくまとめていただいていると思いますので、今後もテストを基にしながら、要綱に書かれています市町村教育委員会の役割というのもきちんと果たしていただきながら、適切な活用を学校のほうにも働きかけていただきたいと思います。

○田中教育長　ほか、ございますか。

ほかにはないようでございますので、採決いたしたいと思います。

議案第３６号につきましては原案どおり決定することに、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○田中教育長　異議なしと認め、議案第３６号につきましては、原案どおり決定いたしました。

次に、協議事項に移ります。

協議事項１、「守口市教育委員会学校提案型人材育成事業について」の説明をお願いします。

○中西学校教育課長　それでは、事前配布いたしました資料及び議案書１３から２７ページを御参照ください。

守口市人材育成基金の設置趣旨と守口市の教育理念の実現に向け、各学校の実情に応じた創意工夫ある教育活動を創出するとともに、学校のエンパワメントを図ることを目的とした学校提案型人材育成事業につきまして、６月の校長会にて趣旨を説明し、募集したところ、各校から１０事業の応募がありました。

まず、選定に向けての今後の流れについて御説明いたします。

１０事業につきましては、選定委員会において予算計上する事業の優先順位をつけ、１１月教育委員会定例会で選定いただく予定としております。

本日の定例会において各校より提案されました事業に対して、委員の皆様より御意見をいただきたく存じます。御意見につきましては、本日の会を終えてから１０月２

0 日までに担当までお申し出ください。

いただいた意見等を踏まえて、10月21日以降に事務局で選定委員会を開催し、基準にのっとって点数化による順位づけを行います。

その順位を参考に、11月教育委員会定例会にて学校を選定し、12月のひとり委員会で調査審議を行うという流れになります。

それでは、提案された10事業の内容について簡単に御説明いたします。

議案書15から16ページ、八雲小学校「「つながる地域、ひらく未来」ものづくり&商い探求プロジェクト」です。主に3年生から6年生を対象に、地域の企業、商店、高等学校と連携して、キャリア教育や課題解決力の育成の観点から、ものづくりや製品企画、開発、販売までを体験的に学び、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すものです。

次に、17ページ、錦小学校「「ゆとり道」整備を通じた「公共心・公德心」育成事業」です。校区内の緑道「ゆとり道」を題材に、樹木プレートの設置やデザイン画作成、清掃活動等を通して、地域を大切にする心や奉仕の精神を育てることをねらいとするものです。

次に18ページから19ページ、錦小学校「通信制高校との連携による多様な学びの保障」につきましては、全学年を対象に、通信制高校との連携を通じて「学びの多様性」を提示し、自己肯定感や将来への安心感を育むものです。校内に支援チームと居場所スペースを構築、通信制高等学校の職員の出前授業や交流活動、保護者の説明会等、児童・保護者・教職員を対象に多面的な支援を展開し、不登校支援のモデルを構築することを目指すものです。

次に20ページ、錦小学校「なわとび名人」です。

全学年を対象になわとび運動を通じて、児童が楽しみながら技能と体力向上を図り、体力テストの記録向上も目指そうとするものです。

次に、21ページから22ページ、錦小学校「食育推進に向けた給食室環境改善事

業」です。

給食を「毎日の教材」と捉え、子どもたちが食の安全・安心や調理の工夫を実感できるように、給食室にのぞき窓やモニターを設置、調理の様子を可視化し、食育掲示や学校菜園等を通じて食育活動を展開する等、市全体の食育モデルを発信していくことをねらいとするものです。

次に23ページ、金田小学校の「遊んで伸ばす！ボードゲーム非認知能力アッププログラム」です。

全学年を対象に、多様なボードゲームを実践し、子どもたちが自分の考えや相手の意図をくみ取ることで他者理解、また自分の感情を適切にコントロールする力を養うことをねらいとするものです。

次に24ページ、庭窪中学校「「助けられる人から助ける人へ」～防災教育で命を、地域を守る」です。

中学2年生を対象に自分の住んでいる町を守るために、自分ができることについて、シミュレーションや体験活動を通して、何ができるか「自分事として」捉え、生きる力を育てることをねらいとしております。

次に、25ページ、「樟風中学校区タイピングスキル向上促進事業」です。

中学校区の2小学校と1中学校でタイピングコンテストを実施し、ICT活用のモデルを広げること、タイピングスキルの向上を通じて、学習効率・自己表現力・論理的思考力を育成することをねらいとするものです。

次に26ページ、「樟風中学校資産運用キャリア教育充実事業」です。

生徒会が資産運用の方法を考え、価格変動や運用成果を体験しながら、金融リテラシーを高め、キャリア教育を充実させ、投資を将来の選択肢の一つとして捉えられることをねらいとしています。

最後に（27）ページ、「樟風中学校理科教材樹木等拡充事業」です。

校内に植栽帯を設置し、教科書に登場する樹木を植樹することで、理科の学習にお

いて、生徒が実物教材を通じて主体的に学べる環境を整備し、学習意欲と理解を高め、観察探究活動を充実させることをねらいとしております。

以上、5校10事業になります。

それぞれの事業につきまして、御意見等いただきますようお願いいたします。以上でございます。

○田中教育長 ありがとうございました。説明が終わりました。何か御意見・御質問はございませんでしょうか。

暫時休憩します。

午後3時52分 休憩

午後3時53分 再開

○田中教育長 休憩を閉じ、再開します。

御意見・御質問ありましたらお願いします。

最初に、データとして教えてほしいのは、今回は5校10事業ですけども、これまではどんな感じだったですか。

○平山学校教育課主幹 令和6年度は10校、令和7年度事業に関しては6校から募集がありました。

○田中教育長 今回は5校で10事業、令和6、7年、それぞれ10事業、6事業ということなんですね。

○平山学校教育課主幹 はい、おっしゃるとおりです。

○中野委員 募集の方法についてお伺いしますが、それぞれ、例えば理科の先生がこれしたいというふうに思って、個人でとか学年で話し合ったのを学校長に出して、学校長がある程度了承して出てくるというような、割と学校の中でも自由に提案してというような形で進んでいるのでしょうか。それとも、もうちょっと違うような実態があるのかっていうことをちょっと教えてもらえますか。

○平山学校教育課主幹 応募をこちらから提案したときには、例えばエクセルの共

同編集を使っているいろんな先生たちからの案を出すこともできますよ、それを事業シートに落としてくださいといったようなお願いもしておりますので、各学校によって出され方は違うと思うんですけども、先生たちからの御意見をくみ取って事業シートを作成するといった流れにはなっております。以上です。

○中野委員　　そういう意味ではすごく面白いというか、学校の先生にはやりたいことがあってって言うことで言えば、いい事業だなというふうに本当に思うんですけど、ただ、見直してもらおうとしたら、恐らく事業実施のねらい、事業内容と期待される効果の中にストーリーがちゃんとあるかということを重視してほしい。、面白い案なんやけど、効果がどうなるかは分からないけど、やっぱりこういうふうに思って、ここを狙いたいんやということについては、きちんと整合性の取れるようにということだけ、もう一度御点検されたらどうかなというふうに思います。しつこいようですが、いずれにせよこれぐらいは上がるやろう、こういうことやったら大丈夫やろうという発想ではなくて、チャレンジしていいっていう事業なんですから、きちんと効果までを一つの流れにさせていただくほうが、結果がそうでなかったってええんじゃないかなというふうに思います。

○田中教育長　　ほか、何かございますか。

私からなんですけれども、いろんなアイデアが今回たくさん出てきてて、非常にいいなと思ってます。ただ、お金がこんなにかかるのかなと思えるようなものがいっぱいあって、無理やり100万に合わせたんじゃないかというのがあります。そこはもう少し良識あるって言ったらちょっと失礼ですが、妥当な線を出していただくのがいいのかなと。もちろん、かかるのはかかるのだらうと思うんですが、その質をもう少し高価なものよりも落としてもいいんじゃないかと思えるようなものもあったりしますし、ほかの事業を見てると、工科高校との連携っていうのがありますから、受けてくれるかどうかは別として、頼むことで、例えばプレートも安く上がるんじゃないかとかね。できるかどうかは分かりませんが、もう少し何かいいようにしたら、た

くさん採択できそうな気がします。100万掛ける3校っていうのは、ちょっともったいない気がしました。先生方のアイデアは、できるだけみ上げたいなという、そういう思いがあります。

もう一個、食育推進に向けた給食室の改善っていうのが、ここで書くことが大丈夫かなって少し気になっていますが、また保健給食課ともよく調整していただいたほうが、いろんな基準とかあったりしますので、よろしくお願いします。

○杉岡教育長職務代理 私、この事業については毎年すごく楽しみにしていて、今年も楽しみに来ました。学校の先生から提案していただけるような形でっていうことで、件数が増えてるのかな、今回増えてるのかなと思うんですが、まだ、一つの学校でたくさん頑張ってくれてる学校もありますし、まだまだ、できたらいろんな先生にチャレンジしていただけるようになればいいなというふうに思ってるんですけども、守口市では、チーム担任制とかも進んでますので、これからほかの先生たちと相談してグループで提案していただけたら、もっとブラッシュアップされたいいものがどんどん提案で上がってくるのかなというふうに楽しみにしています。

今回なんですけど、学校菜園の整備とか植栽って書かれてたところもあったかと思うんですが、夏季休業中とかの水やりについてはどんなふうに考えておられるのかなと思うんです。というのは、地域のかたがたが結構学校にお花とか植えてくださるんですが、夏季休業中の水やりについてはすごく頭を悩まされておまして、その辺をちょっと、どういうふうにされるのかなっていうのをお聞きしたいなと思いました。

○中西学校教育課長 休業中の水やりについては、相談しながらなんですけれども、今いらっしゃる警備員さんをお願いをして担っていただいている学校もございますし、その辺工夫しながらやっておるというようなところでございます。

○杉岡教育長職務代理 続けてすみません。例えば、錦小学校のゆとり道整備の件なんですけども、こういった事業だったら、もっと地域の人とかも学校運営協議会の方とかにも御相談されて、地域もひっくるめて、学校にもっともっと興味を持ってい

ただいたり関心を持っていただけるように入れていただけたらいいのかなというふうに思ったり、あと防災教育というのもあったんですが、これについては昨年度、錦中学校が防災に関したものをされてたと思うんです。そのときも、やっぱり地域の方とかにも来ていただいて、実際、生徒も学ぶことで、地域も学校にこういったものがあったのか、こういう設備があったのかっていうことを知ることもできましたし、問題点も出てきたので、地域としても考えられるいい機会になったんで、もしよかったら、前にされた錦中学校のほうともお話しされて、いいものはまた一緒にして考えていただけたらいいのかなというふうに思いました。

○平山学校教育課主幹　御意見ありがとうございます。今いただいた意見、校長先生にもお返しして、そういったものが中に入れられないかっていったことで検討いただけたらなというふうに思っております。ありがとうございます。

○田中教育長　ほか、何かございますでしょうか。

○中野委員　ちょっとお伺いしますが、先ほど教育長のお話にもあったように、100万っていうようなことをこだわってという感じなんですけど、今、杉岡委員もおっしゃった、これからチーム担任制っていうことでいったら、学年でこういうふうにやりたいとかいうことを提案するというのも、今後、できたら誘導されると面白いかなと思ってます。例えば、50万で2年間、この要綱を見てる限りは、別に単年度とは書いてない。だから、2年計画の1年目。来年採択できるか分からないけど、100万を2年で使うみたいな、とかいうことを、恐らく人材育成という意味では、2年間でこうやってやろうやというふうにチーム、学年を育てようやっていうのもありやと思うんでしょうけど、そんなこと今まで出してきたところはあるかないかを教えてください。

○平山学校教育課主幹　今のところございません。ただ、学年で出すというと御意見に関しては、今年度そういった案で出していただいても大丈夫ですっていうことを事前に説明をさせていただいておりました。

続けて、令和6年度に実施した守口小学校のマイクラフトを活用したプログラミングの学習に関しては、一応1年目で100万は計上しているんですけども、内容としては2年間実施するっていうような形で採択はしております。

○中野委員　　今の話で言うたら、2年間やりたいんだけど、1年ずつの採択やから、2年目も見据えて100万円っていうことも考えれるっていうことですよ。そういうことですか。

○平山学校教育課主幹　　おっしゃるとおりです。

○中野委員　　もうちょっとその辺り、例えば、2年間必ず採用ではないんだけど、その分だけ額を減らして、中間の審査みたいなときにも、ちゃんと成果を出していつて、これが2年間のうちのここまでできたと。次はこうしていきたいんやというふうに出してくるっていうのも一つの方法としてありなのかっていうことで言うと、2年間の学年経営の絵を描くとかですね。100万の使い方について、もう少し違うような提案もあったら面白いなというふうには思います。

○田中教育長　　ありがとうございます。ほか、いかがでしょうか。

そしたら、これは10月20日までに、また気づいた点をお知らせするっていうことでよろしいですか。

○平山学校教育課主幹　　はい。

○田中教育長　　分かりました。この件、よろしいでしょうか。

次に、報告事項に移ります。

報告事項1、「瀬野憲一市長及び田中 実教育長によるパワーハラスメント疑惑の調査に関する決議について」にまいります。

本件につきましては、私自身の一身上に関する内容でありますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項の規定に基づき、私は議事に加わることはできませんので、審議が終わるまで退席いたします。

なお、その間の議事進行は、杉岡教育長職務代理者をお願いすることといたします

す。

それでは、暫時休憩といたします。

午後 4 時 1 0 分 休憩

午後 4 時 1 0 分 再開

○杉岡教育長職務代理 休憩を閉じ、再開いたします。

それでは、報告事項 1 の説明をお願いします。

○湯川人事課長 人事課長の湯川と申します。本日は教育委員会定例会の貴重なお時間をいただき、ありがとうございます。

私のほうから、9 月 3 0 日に設置されました本市議会の特別委員会について御報告させていただきます。

令和 7 年 9 月定例会におきまして、瀬野憲一市長及び田中実教育長によるパワーハラメント疑惑の調査に関する決議により地方自治法第 1 0 0 条の調査権を持つ特別委員会が設置されたと聞き及んでおります。

以上でございます。

○杉岡教育長職務代理 ありがとうございます。何か御意見・御質問はございませんか。

では、私のほうから質問させてください。守口市公正職務等審査委員会が既に設置されてるかと思うんですが、今回、調査特別委員会ということで、調査される委員 8 人から成るというふうに書かれてあるんですが、その委員 8 人というのはどういった方がなれるんでしょうか。

○湯川人事課長 委員につきましては、既に議会のほうで結成されており、市議会議員 8 名が委員と聞き及んでおります。

○杉岡教育長職務代理 ありがとうございます。市議会議員 8 名ということですが、その党派とかは分かりますか。もし分かれば教えていただけますか。

○湯川人事課長 申し上げます。議長が公明党小鍛冶議員でございます。副議長が

市民会議の高島議員でございます。以下委員につきましては、共産党の由井議員、公明党の松本議員、維新の会の梅村議員、維新の会の武田議員、未来会議の井内議員、自民党の水原議員でございます。

○杉岡教育長職務代理 分かりました。ありがとうございます。

ほかに御意見・御質問はございますでしょうか。

○中野委員 杉岡職務代理者の御質問にちょっと重なるんですけども、新たに立ち上がったこの委員会と、百条委員会と、今までの調査をしていく委員会とか、第三者委員会みたいなのが立ち上がってますよね。まだ始まってないんですか。

○湯川人事課長 第三者委員会の公正職務等審査委員会は、もう既に審議を開始しておりまして、今、調査審議中でございます。

○中野委員 その調査する委員会と、この百条委員会とは、こういった関係にあるかっていうことを、ちょっと私が整理したいので改めて教えていただけますか。

○湯川人事課長 それぞれ2つの調査機関は全く独立したもので、それぞれ法的根拠が違うもので設置されております。公正職務等審査委員会につきましては、市長が諮問する第三者機関になっております。今般、報告申し上げました百条委員会につきましては、地方自治法第100条の調査権を持つ地方自治法第9条に基づいて設置された委員委、特別委員会というので、議会の中にある委員会という形になります。

○杉岡教育長職務代理 ほかに何か御意見・御質問はございませんか。よろしいですか。

それでは、教育長に議事進行をお戻しします。暫時休憩いたします。

午後4時16分 休憩

午後4時16分 再開

○田中教育長 休憩を閉じ、再開いたします。杉岡教育長職務代理者、ありがとうございました。

次に、報告事項2、「スポーツ関係団体補助金及び市スポーツ協会に係る問題に関

する調査特別委員会設置に係る報告について」の説明をお願いします。

○中村市民生活部次長兼生涯学習・スポーツ振興課長 それでは、スポーツ関係団体補助金及び市スポーツ協会に係る問題に関する調査特別委員会設置に関して御説明いたします。

本件は、令和7年2月定例会の議会審議において、スポーツ関係団体補助金及び関連する市スポーツ協会に係る問題について、様々な指摘を受け、関連予算を減額修正し、令和7年8月1日の市民環境委員会において全容解明に向け速やかに調査報告書の取りまとめを進めることとし、我々理事者としても、議会に対して適宜報告、議会の意見を聞きながら全容解明に向けて努力すると答弁しておりました。

しかしながら、理事者として速やかに全容解明に向けて報告書を取りまとめることに傾注し、議会に対する報告、また意見の徴収を失念しており、議会からは9月30日に開かれました守口市議会、令和7年9月定例会において、本日に至るまでの、この間理事者からは調査に関し議会への主体的な報告や意見徴収はなく、市長、理事者からの意思表示に反して全容解明に向け最大限の努力を傾注しているのか疑問であり、これまでの問題に対する認識が甘く、真摯な姿勢に欠けているのではないかと指摘を受けました。このことから、議会として調査の進捗を確認し、意見などを提示することにより、これらの問題の全容解明につなげるとともに、再発防止はもとより根本的な事業などの在り方についても調査すべきと結論を見いだされ、スポーツ関係団体補助金及び市スポーツ協会に係る問題に関する調査特別委員会が設置されたものであります。

以上、甚だ簡単ではございますが報告とさせていただきます。

○田中教育長 説明が終わりました。ただいまのことにつきまして、御意見・御質問等ございましたらお願いいたします。

○杉岡教育長職務代理 御説明していただいたんですが、なかなかちょっと入ってこなくて申し訳ないんですけど、スポーツ関係団体補助金の調査というのは、今まで

もずっとされてたということによろしいでしょうか。

○中村市民生活部次長兼生涯学習・スポーツ振興課長　　今現在も調査させていただいております。

○杉岡教育長職務代理　　ありがとうございます。今回の調査特別委員会というのは、また委員さんが何人かいらっしゃって、その方たちが調査されるということなんでしょうか。

○中村市民生活部次長兼生涯学習・スポーツ振興課長　　先ほどの百条委員とよく似ておるんですけども、委員さんというのは議会の議員さんから構成されるメンバーでありまして、その中で、その特別委員会の中で御意見等をいただきまして、調査は、私ども生涯学習・スポーツ振興課が主となってやっていくというところでございます。

○杉岡教育長職務代理　　分かりました。ありがとうございます。

○田中教育長　　ほか、何かございますか。よろしいですか。

それでは、本日の日程は以上でございます。

本日の定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会　午後４時２１分